

特記仕様書

この特記仕様書は、本事業の基本的考え方を示したものである。

1 背景・趣旨・ねらい等

(1) 現状認識

本事業を行う背景にある現状認識としては、次のとおりである。

- ・仙台のまちづくりにおいて、若者層のポテンシャルやエネルギーを生かし切れていない
- ・もっと若者層を巻き込んだまちづくりを進める余地・可能性がある

(2) 全体趣旨

仙台が、もっと楽しい、市内外から愛着を持ってもらえる都市を目指すため、主体的に取り組もうとする若者が参加し、仙台に必要なことや大切なことの発見・増進・創造に向けたアクションにつなげていく。このことを通じて、若者の発想やエネルギーをまちづくりに生かしていくものとする。

(3) 仙台まちづくり若者ラボのねらい

若者自らが「自分ごと」として関われるまちづくりに関するテーマを設定して「実践型プログラム（ワークショップ・フィールドワーク）」を実施し、そのプロセスや成果を発信・共有することにより、若者の視点やアイデアを様々なまちづくり主体（地域団体、市民活動団体、行政）が取り組む地域課題の解決や地域活性化に生かし、ひいては自発的なアクションを促し支援することにより、「主体的に動く若者」や将来のまちづくりの協働パートナーの発掘・育成を目指す。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大後に生じた課題に対する対応の視点

上記（1）～（3）の本事業の基本的な視点に加え、新型コロナウイルス感染症拡大後に生じた新たな社会課題に対し、若者のアイデアや発想を生かして、若者が「自分ごと」として課題解決を図ることを事業プログラム設定の視点に含めるものとする。

※事業プログラムの設定にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大後に生じた新たな社会課題に限定することなく、幅広く捉えていただき、自由に設定いただいかまいません。

2 実施概要

(1) 仙台まちづくり若者ラボの基本コンセプト

基本コンセプト：「みんなに見せたい仙台がある」

参加者（若者）は「まちの特派員」。若者視点で考える、みんなに「知ってほしい、大切だと思う、今後必要になると思う」人、モノ、コト、場所、文化等を取材する。まちに潜在する様々な資源・素材を発見・編集し、報告会で共有する。

(2) 想定スケジュール

2年6月	プロポーザル公告、委託事業者選定	
7月	業務委託契約締結、広報・参加者募集開始	
9月	ワークショップ①	【チーム分け、取材テーマ決定、取材方法の例示】
	フィールドワーク①	【チームごとにフィールドワーク・取材】
10月	ワークショップ②	【各チームでの意見交換、情報整理・編集】
	フィールドワーク②	【チームごとに追加取材、情報整理・編集】
11月	ワークショップ③	【報告会用成果のまとめ】
	自主ワーク	【最終報告会に向けた準備】
1月	最終報告会	【これまでの活動と成果の報告（市長参加）】

3 事業詳細（業務内容）

(1) ワークショップの開催

①概要：次表のとおり

開催時期	令和2年9月～11月頃の期間で3回以上のワークショップを開催する
開催場所	仙台市内の会議室、イベントスペース等
参加対象者	概ね18～30歳の仙台市に居住または通勤・通学する者
募集人数	30～50人程度

②その他

ア 次表の実施例を参考に、詳細内容は事業者の提案を基本に市と協議する。

9月上旬頃 ワークショップ第1回	10月下旬頃 ワークショップ第2回	11月下旬頃 ワークショップ第3回
・取材テーマ決定 ・チーム編成	各チームでの意見交換、情報 整理・編集	報告会用成果のまとめ

イ ワークショップと併せて後述のフィールドワークのサポートを目的とした中間報告会やミーティング等を組み込むことも可能とする。

ウ 各ワークショップは複数日に渡っての開催、または短時間で回数を増やしたものを企画提案することも可能とする。

(2) フィールドワークの伴走支援

ワークショップで参加者が考えた取材テーマへのフィールドワークをサポートし、最終報告会までのフォローアップを行う。

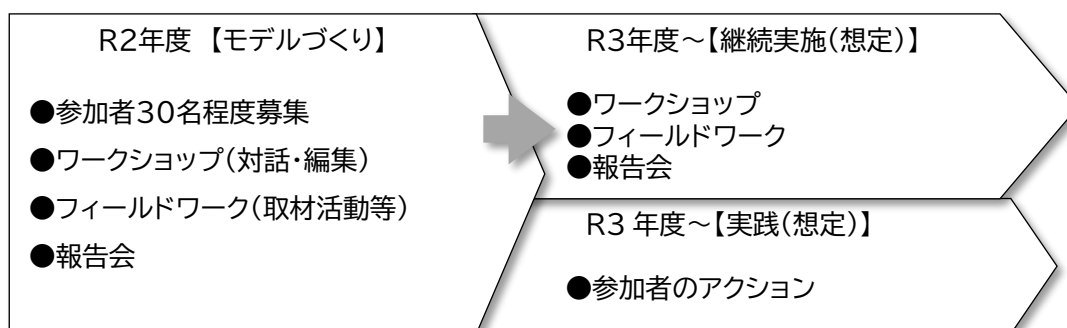
(3) 最終報告会の開催

①概要： 次表のとおり

実施内容	ワークショップ及びフィールドワークの成果、または若者のアイデアを生かした市への提案を発表する
開催時期	令和3年1月頃
開催場所	仙台市内の会議室、イベントスペース等
参加対象者	ワークショップの参加者(30～50人程度)と一般来場者(20～30人程度)
募集人数	50～80人程度

4 本事業の中期的展開(想定)

本事業は、次のイメージ図にあるような展開を想定している。



5 目指す成果

本事業の実施を通じて、次のイメージ図中にあるプロセスを経て「若者に選ばれ、若者が活躍する、それが持続していくまち・仙台の実現」を目指すものである。

